

図書案内

2019年 10月号

担当 2-6 芦崎 2-6 加瀬

魔女と猫

10月になり、年の終わりも少しずつではありますが近づいてきました。さて、10月と言えばハロウィーン。高校生のみなさんも幼い頃は「トリックオアトリート!」と言ってお菓子をねだったのではないのでしょうか。そんなハロウィーンにちなんで、今月は「魔女と猫」が登場する本を紹介します。みなさんのお気に入りの魔女や猫が見つかりますように。

『西の魔女が死んだ』 梨木香歩

中学に進んでまもなく、学校に足が向かなくなった少女まい。ひと月あまりを西の魔女、つまりおばあちゃんの元で暮らす。まいはそこで魔女修行をするが、一番大事なことは何でも自分で決めることと言われて……。

人付き合いが上手くできなくなった少女まいと、おばあちゃんのあたたかい日々と魔女修行がもたらす、まいの心の変化の物語です。(加瀬)

ニシノマジヨ カラ ヒガシノマジヨ ヘ
オバアチャン ノ タマシイ、 ダッシュツ、ダイセイコウ



『村上春樹とネコの話』 鈴村和成

「ネコ」を題材とした短編集です。切っても切れない小説家とネコの関係。特に村上春樹の作品でのネコの登場回数はものすごいのだとか。一度読んだだけでは分かりづらいような村上春樹の作品などを、「ネコ」をキーワードとすることでみた良作。同じ話を、これまでと違う視点でみることで、別の姿となって見えるかも。ネコ好きでもそうじゃなくてもぜひ読んで、ネコの魅力を知って欲しい。(加瀬)

はかなく、消え入りそうな生き物であるからこそ、ネコは大切であるかもしれない。

『ラプラスの魔女』 東野圭吾

ある時、温泉地の外れで映画プロデューサーと無名の俳優が硫化水素中毒で立て続けに亡くなるという事故が起こる。不可解な点が多いこれらの事故に疑問を持つ刑事と学者。そんななか、学者はとある不思議な少女と出会い……。登場人物の驚き、葛藤、狂気といった人間らしさを細かに描いたダーク・ミステリー。スリルのあるミステリーやサスペンスが好きな人にはぜひ読んでもらいたい一冊です。(芦崎)

それはね、知らないほうがきっと幸せだよ。



『世界から猫が消えたなら』 川村元気

脳腫瘍が見つかり、医者から余命宣告を告げられた主人公。家に帰ると自分とそっくりな顔の悪魔が現れ、主人公は世界から1つ何かを消すたびに明日で終わるはずのお前の命を1日伸ばしてやると言われる。毎日何かが消えていく世界で考え、悩みながら家族や自分の周りの人たちとの思い出を振り返っていく切ないストーリー。(芦崎)

何かを得るためには、何かを失わなくてはね。



三毛猫の雄はなぜ珍しいのか

今回はテーマの1つである猫についての豆知識です。三毛猫は通常雌しか生まれないため、雄の三毛猫はとても珍しいという話はとても有名です。で、なぜ三毛猫は雌ばかりなのでしょう。理由は猫の毛色を決める遺伝子にあります。猫の毛色を決める遺伝子は全部で9種類あります。さらに、それぞれの遺伝子には2種類の対立遺伝子が存在し、それらの組み合わせによって猫の毛色が決まります。猫の性染色体は人間と同じくXとYが1つずつあり、XYなら雄、XXなら雌です。三毛猫の場合、黒・白・茶の3つの遺伝子が必要ですが、茶を決める遺伝子は性染色体にしかなく、三毛猫が生まれるには黒のXと茶のXの組み合わせになったときだけ、つまり三毛猫はXXの雌しかないということになります。雄の三毛猫は染色体異常などの限られた個体でしか見られないため、昔は幸運を呼ぶと言われていました。一度は見てみたいものですね。

【参考】公益社団法人 日本獣医学会 https://www.jsvetsci.jp/10_Q&A/v20141020.html